

学校だより



川口市立元郷中学校
〒332-0003 川口市東領家1-8-3
TEL 048-222-4143 FAX 048-225-3222
令和元年10月1日 第344号
<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/motogo-j/>

『我^もいまだ木^{つけい}鶏^{けい}たりえず』

校長 大山 孝一

いよいよ、10月となりました。1年の半分が過ぎ、今日から後半戦です。マラソンでいうと、折り返し地点を曲がったところです。ここまでの振り返りをし、もう一度目標を再確認し、目標の実現に向けて、大いに頑張ってもらいたいと思います。

さて、『我^もいまだ木^{つけい}鶏^{けい}たりえず』という難しいタイトルですが、相撲で昭和の大横綱に、双葉山という人がいます。69連勝を成し遂げた大横綱で、白鵬も尊敬している人です。この双葉山という力士が、69連勝で敗れたとき、恩師に、『我^もいまだ木^{つけい}鶏^{けい}たりえず』と電報を打ったそうです。この言葉は、次のような故事に由来しています。

『昔の中国に、闘鶏（ニワトリどうしが闘う競技）を訓練する名人がいました。ある日、王様から一羽の鶏の訓練を仰せつかりました。10日たって王様が「どうだ、そろそろ使えるようになったか？」と尋ねると、「まだまだです。今は殺気立って、しきりに敵を求めています。」と答えました。また10日たち、王様が尋ねると、「いや、まだです。他の鶏の声を聴いたり気配を感じると、たちまち闘志をみなぎらせてしまいます。」また10日たって王様が尋ねると、「まだ駄目です。他の鶏を見ると、にらみつけたり、いきり立ってしまいます。」さらに10日たって王様が尋ねると、「もう大丈夫です。他の鶏がいくら鳴いても跳んでも動ずる気配がなく、木彫りの鶏のようです。徳が充実している証拠です。こうなれば、どんな鶏もかありません。姿を見ただけで逃げ出してしまうでしょう。」そして、**実際に闘わせてみると、他の鶏は、闘わずして逃げ出してしまったそうです。**』

戦後の政治家に多くの影響を与えた人物：安岡正篤さんが、「人間は、面よりも背のほうが大事だ。徳や力というものは、まず面に現れるが、それが背中、つまり後ろ姿（肩背）にあふれるようになってこそ本物です。後光がさしている状態。人を観るには前より後ろから観るのが良い。前はつくろえるが、後ろはごまかせない。後姿が寂しいのはよくない。**後姿が立派だと言われるようになれば、人間が出来たということだ。**」と語っています。

これが本当の魅力なのでしょうか。こんな魅力のある人間になるためには、かなり厳しい修練が必要だと思いますが、少しでも近づこうとする意識だけは、日々、持ち続けたいものです。

校訓

責任 健康 感謝 協力 勉学 真剣

学校教育目標

自主的に取り組む生徒	【全体】
共に学び、共に伸びる生徒	【知】
思いやりのある生徒	【徳】
健康でたくましい生徒	【体】

元郷中で良かった～笑顔と規律と潤いのある学校～